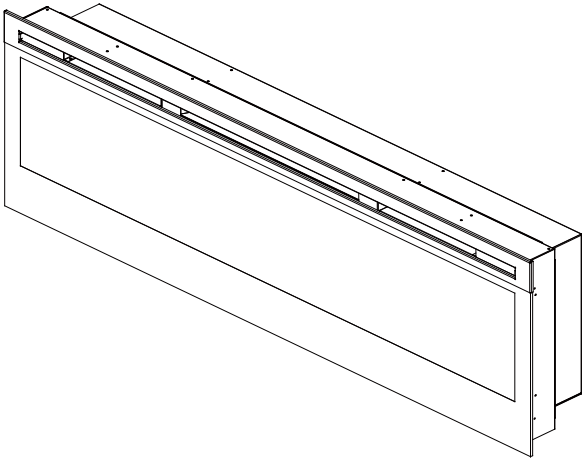


設置取扱説明書

BLF50J



ご使用の前に

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せる所に大切に保管してください。

もくじ

- ・ 安全上のご注意 1
- ・ 各部名称 4
- ・ 本体寸法 4
- ・ 設置の方法①：壁表面への設置 5
- ・ 設置の方法②：壁開口部への設置 6
- ・ 設置の方法：前面ガラスの設置 8
- ・ 運転のしかた 9
- ・ お手入れのしかた 11
- ・ 保管のしかた 11
- ・ 故障診断 11
- ・ アフターサービス、仕様 12
- ・ 保証書 15

【安全上のご注意】

- この製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害の発生を未然に防止するための重要な情報です。記載事項(図記号等による表示)を必ずお守りください。
- 注意事項は、誤った取扱いで生じることが想定される危害や損害の大きさと切迫の度合いにより、「警告」「注意」に区分しています。

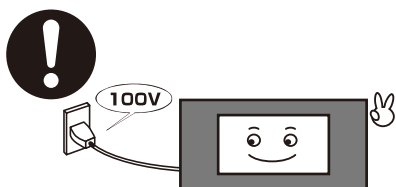
 警告	取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■図記号の例

 の記号は注意(警告を含む)を促す内容を示しています。(右の図は高温注意)  高温注意	 の記号はしてはいけない内容を示しています。(右の図は分解禁止)  分解禁止	 の記号はしなければならない(強制)内容を示しています。(右の図は電源プラグからコンセントを抜く)  電源プラグをコンセントから抜く
---	---	--

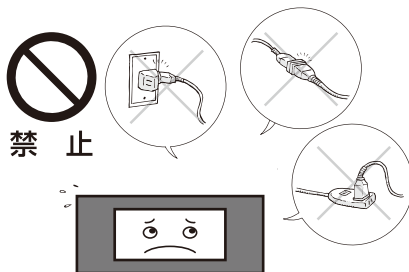
警告

- 電源は、100Vの壁のコンセントに電源プラグを直接に差込んでください。



200Vに接続すると、発火の恐れがあります。
また、タイマーや他機器と連動するような配線を行うと、意図しない暖房運転が開始され大変危険です。

- 延長コードやマルチタップは絶対に使用しないでください。



コードやプラグ等が過熱して発火することがあります。

- 電源プラグはコンセントの根元までしっかりと差込んでください。また、差込口のゆるいコンセントは使わないでください。



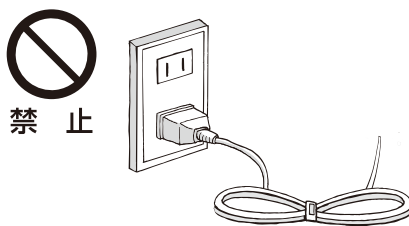
過熱により発火する恐れがあります。

- 電源コードを本体に掛けたり巻きつけたりしないでください。



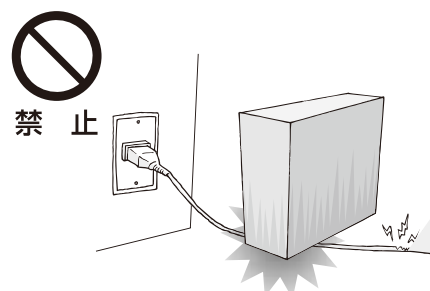
熱でコードが傷み、感電や発火の原因になります。

- コンセントが近くにあってもコードの長さが余っても、絶対に束ねないでください。



コードの放熱ができず、過熱・発火の原因となります。

- コードに重いものを載せたり、傷付けたりしないでください。



発火の原因となります。

■ 電源コードが傷付くなどした場合は、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。

■ また、次のような場合にも、直ちに使用を中止して電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。



コードやプラグが熱い。コードを動かすと電源が切れる。
(または、電源が入る)

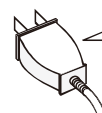


誤った修理を行うと、発火や感電の恐れがあります。
また、修理をせずに使用を続けると発火の恐れがあります。

■ シーズンオフや長期間使用しない場合には電源プラグをコンセントから抜いてください。また、プラグとコンセントの表面に汚れがあれば除去してください。



電源プラグを
コンセントから抜く

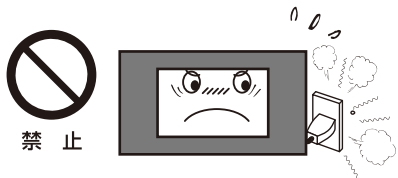


Cleaning

トラッキングによる発火や意図せぬ通電を防止するためです。

トラッキングとはプラグの二つの刃の間に汚れ、湿気などによりショートすることです。

■ コンセントの位置に注意し、電源ケーブルは無理に曲げたり本体と壁の間に挟めるなど、ケーブルに力が加わらないようにしてください。また、本体上部に温風の吹出口があるため、垂れ下がった電源コードに温風が直接当たらないようにご注意ください。

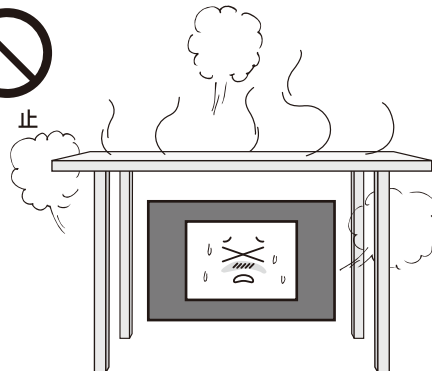


ケーブル断線などの故障の原因になります。

■ 押入れや机の下など、極端に狭い場所で使用しないでください。



禁止

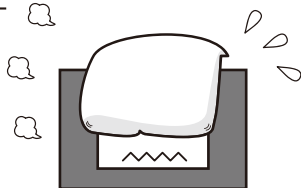


故障や熱変形などの原因になります。

■ 吹出口や吸入口を覆ったり、物を置いて通風を妨げたりしないでください。また、布団や洗濯物を掛けしないでください。



禁止



破損や過熱により火災につながる恐れがあります。

■ 泥酔などで正常な判断ができない状態の方や操作に不慣れな方は、操作を行わないでください。また、幼児が操作をできない場所に設置ください。必ず操作方法や危険を理解した方が操作してください。



禁止



高温のヒーター吹出口に触るとやけどの恐れがあります。

■ 水のかかる恐れのある場所や、湿度の高い場所におかないで下さい。また、花瓶など水の入ったものを本体に載せないでください。

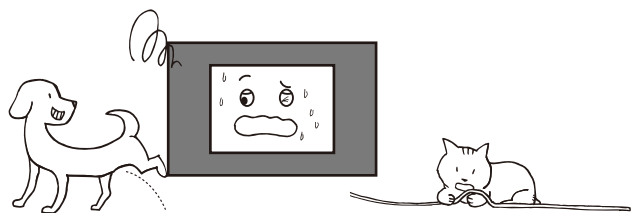


水ぬれ禁止



水滴の付着や結露により絶縁の劣化をもたらし、感電の原因になります。

■犬・猫など、ペットの暖房用には使用しないでください。



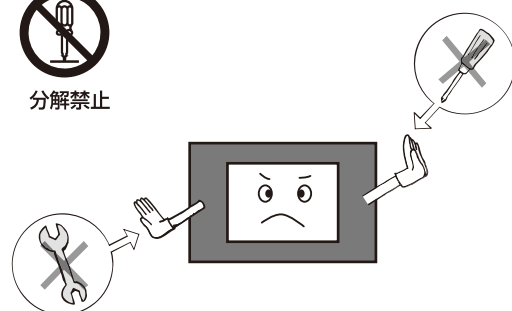
歯や爪で電源コードを傷付けたり、排泄物が絶縁劣化を起して、発火の原因になります。

■就寝するなど、長時間にわたってヒーターの直前に居ることのないようにしてください。



熱中症や低温やケドの恐れがあります。
幼児や泥酔された方には特に注意してください。

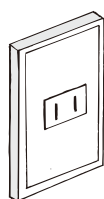
■修理技術者以外の方は、分解・修理を行わないでください。



誤った修理を行なうと、発火や感電の恐れがあります。

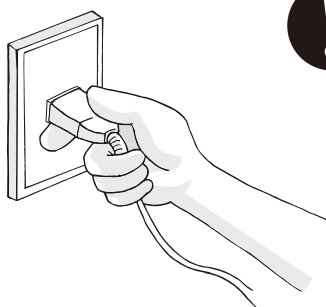
⚠ 注意

■ぬれた手で電源プラグの抜き差しやスイッチの操作を行わないでください。



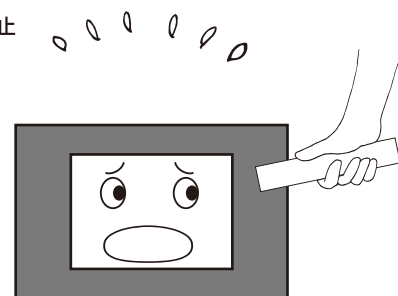
感電の恐れがあります。

■電源コードをコンセントから抜く場合には、必ずプラグを持って抜いてください。



コードを引っ張って抜くと、コードやプラグが傷み、発火する原因となります。

■外装の隙間から、異物を差し込まないでください。



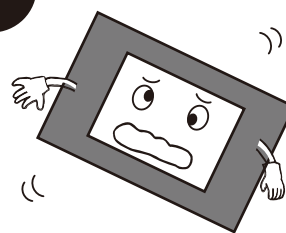
感電や故障の原因となります。

■ヒーターの温風吹出口は高温になります。使用中には手で触れないでください。



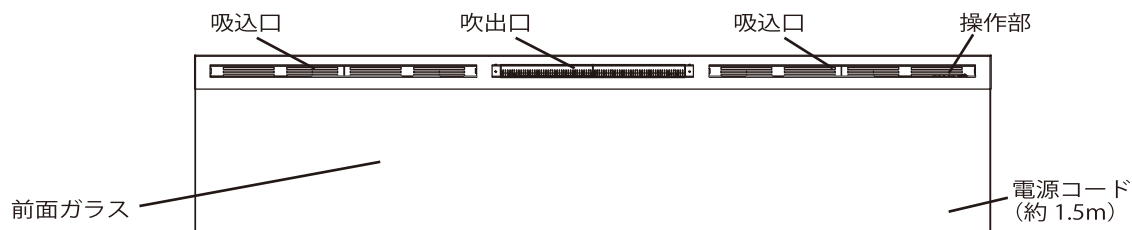
幼児が触らないよう、注意願います。お手入れの際には、十分に冷えるまで触らないでください。

■据付は水平に正しく設置してください。



製品が落下し、ケガをするおそれがあります。
横倒しでの使用は行わないでください。

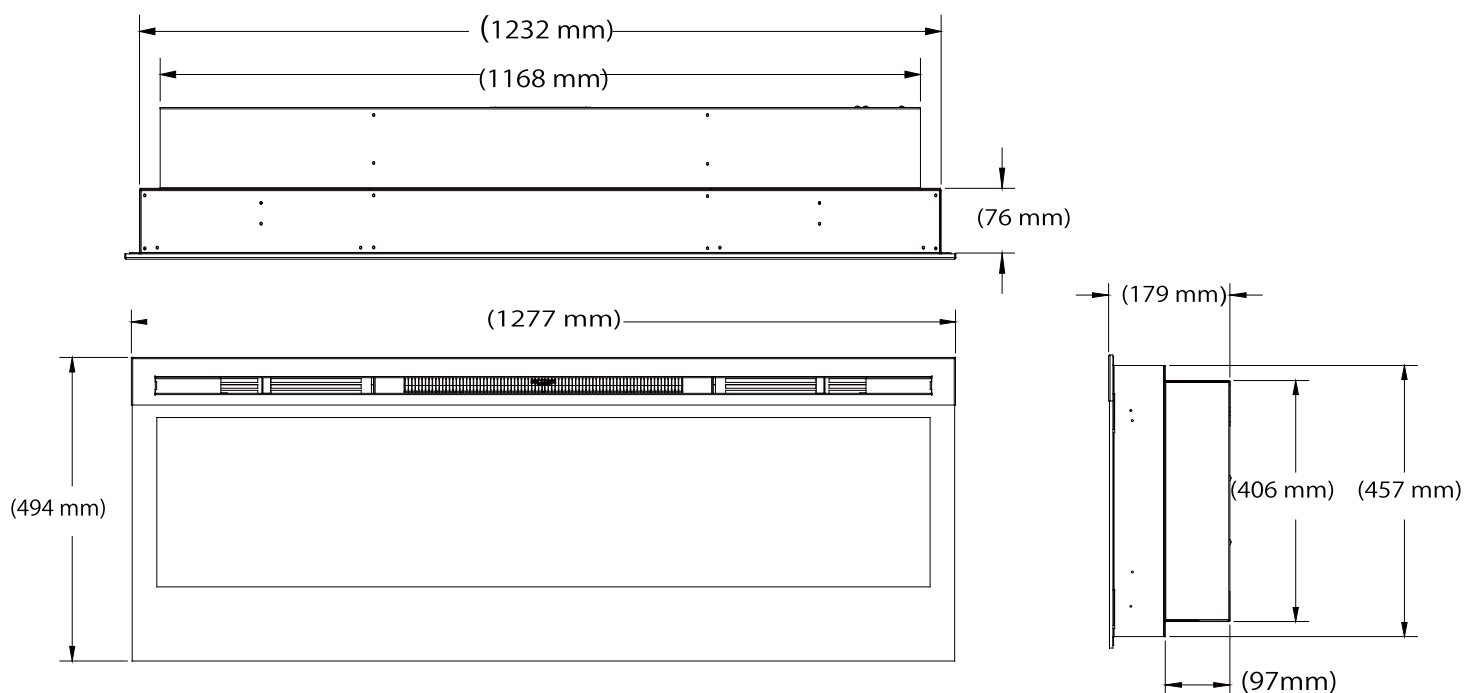
各部名称



本体寸法

設置の方法

- 水平で安定した場所に設置してください。
- 全面には大きなスペースを設けて下さい (前方離隔500mm以上)



⚠ 注意

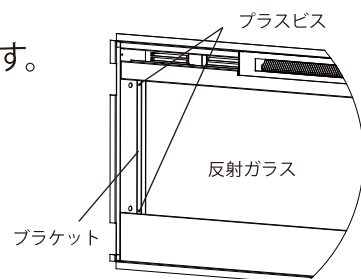
- ⚠ 湿気・埃のない場所に暖炉を設置してください。
- ⚠ 設置時はコンセントを抜いた状態で設置作業を実施してください。
感電の恐れがあります。
- ⚠ 取り付け後は必ず安全性を確認する。
また、定期的に転倒の可能性がないか安全点検を実施してください。取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、一切負いかねますのでご了承ください。
- ⚠ 設置する際は、以下のことに注意する。
壁は、下地補強を入れてください。壁下地補強材は、厚み12mm以上の合板又は同等以上の強度を持つものとしてください。
- ⚠ 必ず付属の取り付けネジを使用して固定する。
本体が転倒すると、けがの原因となることがあります。
- ⚠ 2人以上で施工作業を実施してください。
重量物であるため、1人作業での設置は危険です。
- ⊘ 取り付け後は本体固定ブラケットに取り付けられたネジは絶対にゆるめない。
本体が転倒し、破損したり、けがの原因となります。
- ⊘ 本体にぶら下がったりしない。
転倒したり、破損したり、けがの原因となることがあります。

設置の方法①：壁表面への設置

1：炎効果反射用のガラスを取外します。

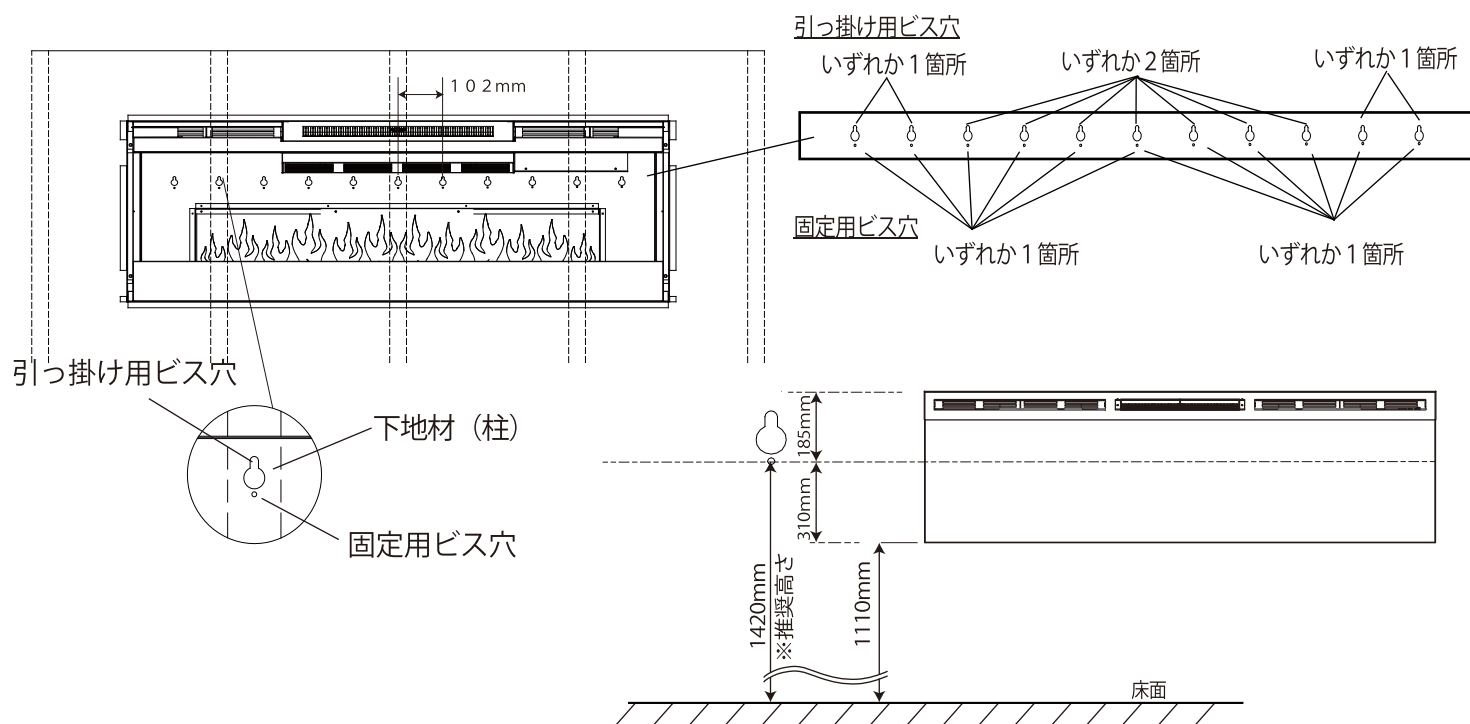
ガラス部左右に取付けられたブラケットからプラスビス（上下2本）を取外します。
炎効果反射用のガラスを手前に引き出して取外します。

※反射ガラスに直接手で触れると、指紋が付着します。手袋などをつけて作業して下さい。



2：本体壁面へ固定します。

①：引っ掛け用ビス穴4カ所の内2本以上、また固定用ビス穴2本が必ず下地材、柱（間柱）にかかる位置で、本体位置を決定して下さい。ビス用穴のピッチは102mmです。



②：本体を持ち上げ、同梱されている水平器を使用して、本体の水平を確認し引っ掛け用ビスを取り付ける位置×4カ所をマーキングする。

③：本体を下ろし、引っ掛け用ビスとワッシャーを仮止めする。（壁との隙間を1cmくらい開けておく）

④：引っ掛け用ビスに本体を引っ掛けて、引っ掛け用ビス4カ所を固定する。

⑤：固定用ビス2カ所を固定する。

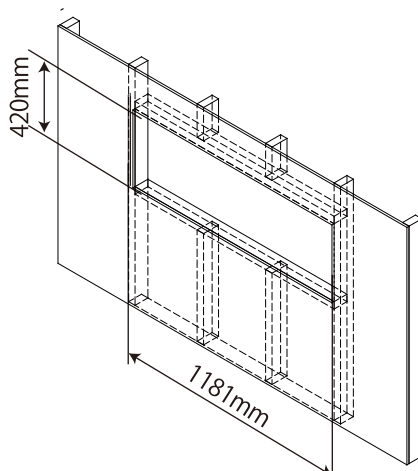
3：炎効果反射用のガラスを取付けします。（"1"のガラスの取外しと逆の作業を行って下さい。）

4：P8を参考に前面ガラスを取り付けると、設置は完了です。

設置の方法②：壁開口部への設置

■ツーバイフォー木材の場合

1：壁面に幅W1181mm x 高H420mm (x奥行D184mm以上)の開口部を設けてください。



2：電気暖炉専用の15A, 100Vのコンセントを設けてください。

⚠ 注意



電気暖炉専用の 15A, 100V の電源回路を設けてください。同回路上に他の電気機器を使用しないでください。

容量以上の電流が流れるなどした場合、ブレーカーが落ちたり、電源コードやコンセント部が発熱して発火する恐れがあります。

3：電源コードをコンセントに挿入し、トリム部が壁面と同一平面となるまで暖炉本体を壁開口部に挿入してください。

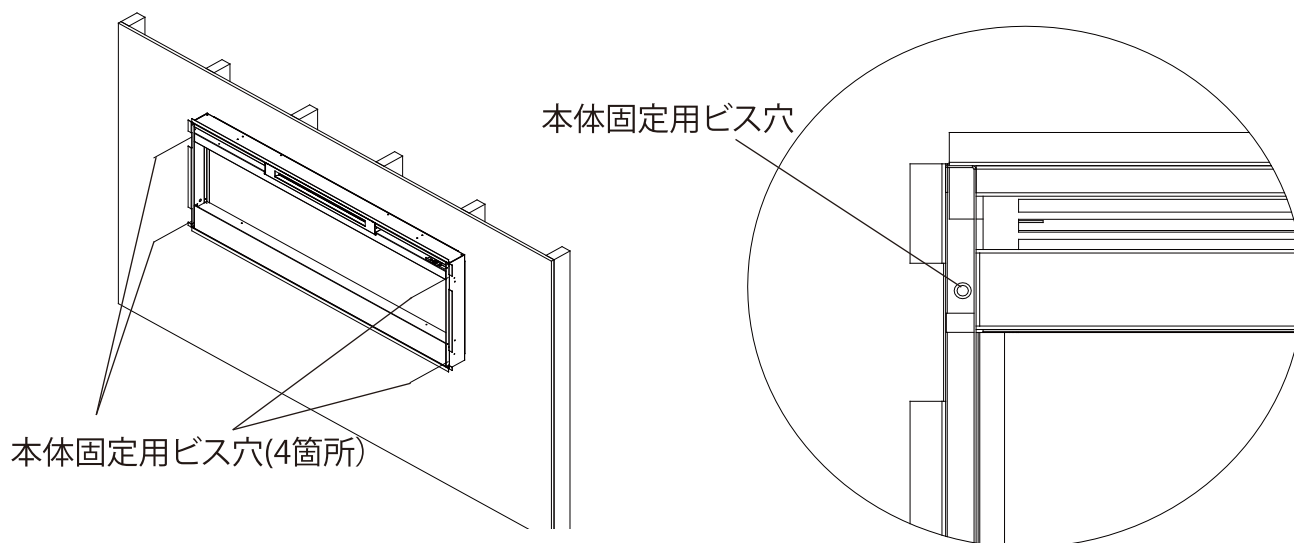
⚠ 注意



本体を開口部に挿入する際に、電源コードを本体と壁の間に挟むなどしないでください。

電源コードが傷つくなどして、発火の原因となります。

4：本体周囲の固定ビス用の穴を利用して、本体を壁に固定してください。

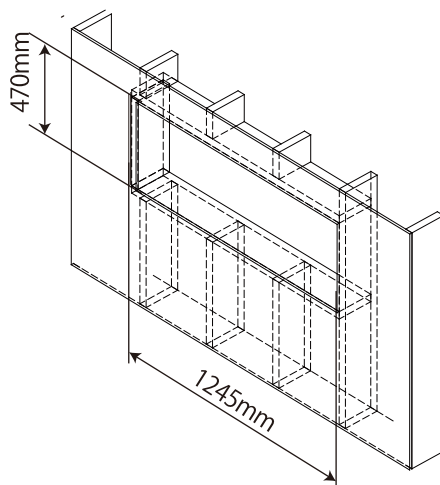


5：P8を参考に前面ガラスを取り付けると、設置は完了です。

設置の方法②：壁開口部への設置

■ツーバイエイト木材の場合

1：壁面に幅W1245mm x 高H470mm (x奥行D184mm以上)の開口部を設けてください。



2：電気暖炉専用の15A, 100Vのコンセントを設けてください。

⚠ 注意



電気暖炉専用の 15A, 100V の電源回路を設けてください。同回路上に他の電気機器を使用しないでください。

容量以上の電流が流れるなどした場合、ブレーカーが落ちたり、電源コードやコンセント部が発熱して発火する恐れがあります。

3：電源コードをコンセントに挿入し、トリム部が壁面と同一平面となるまで暖炉本体を壁開口部に挿入してください。

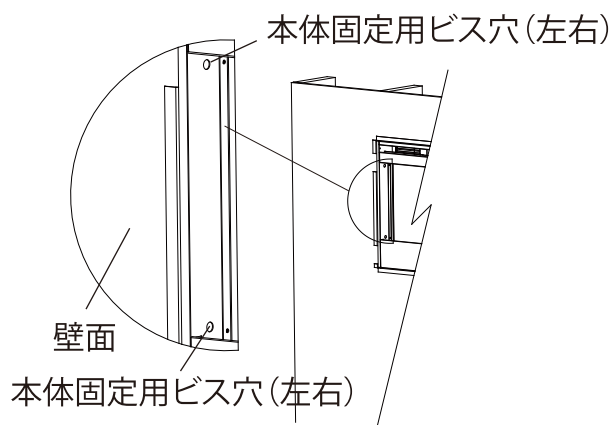
⚠ 注意



本体を開口部に挿入する際に、電源コードを本体と壁の間に挟むなどしないでください。

電源コードが傷つくなどして、発火の原因となります。

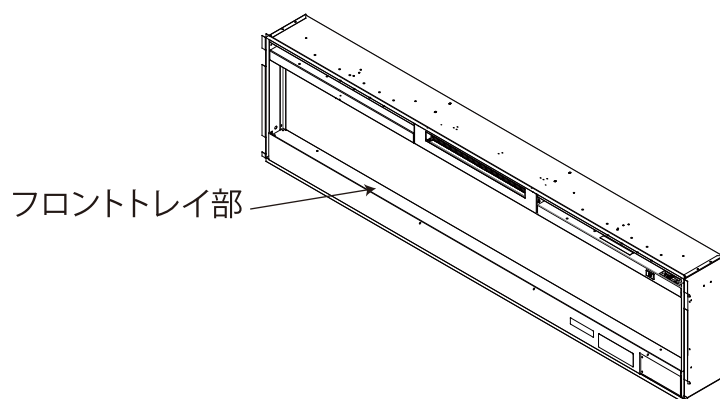
4：本体周囲の固定ビス用の穴を利用して、本体を壁に固定してください。



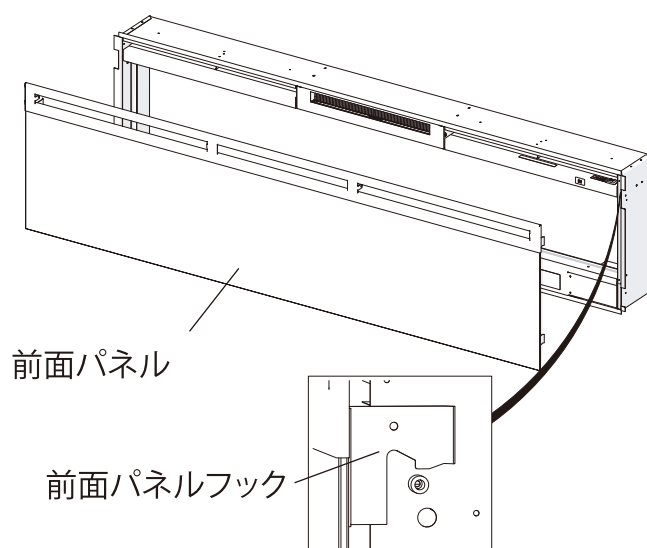
5：P8を参考に前面ガラスを取り付けると、設置は完了です。

設置の方法：前面ガラスの設置

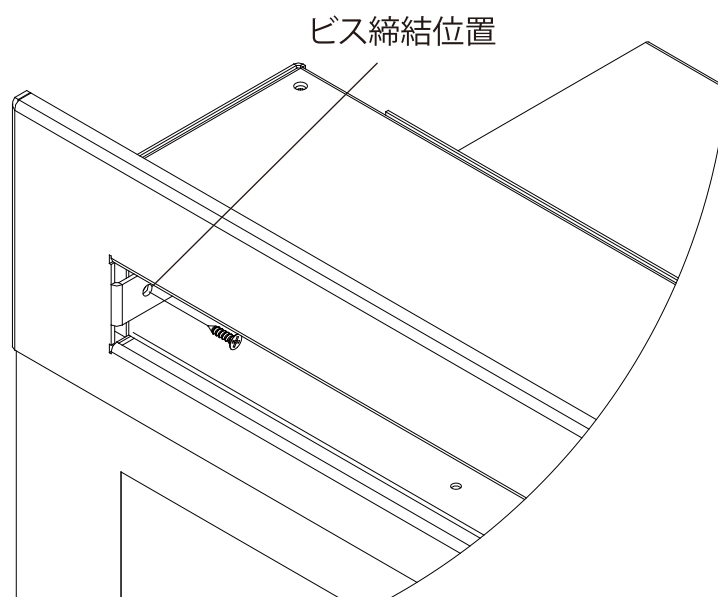
1：同梱されている意匠用ガラスを、本体のフロントトレイ部に高さが均等となるようならべてください。



2：前面ガラスのフックを本体に引っ掛けるようにして、取付けてください。

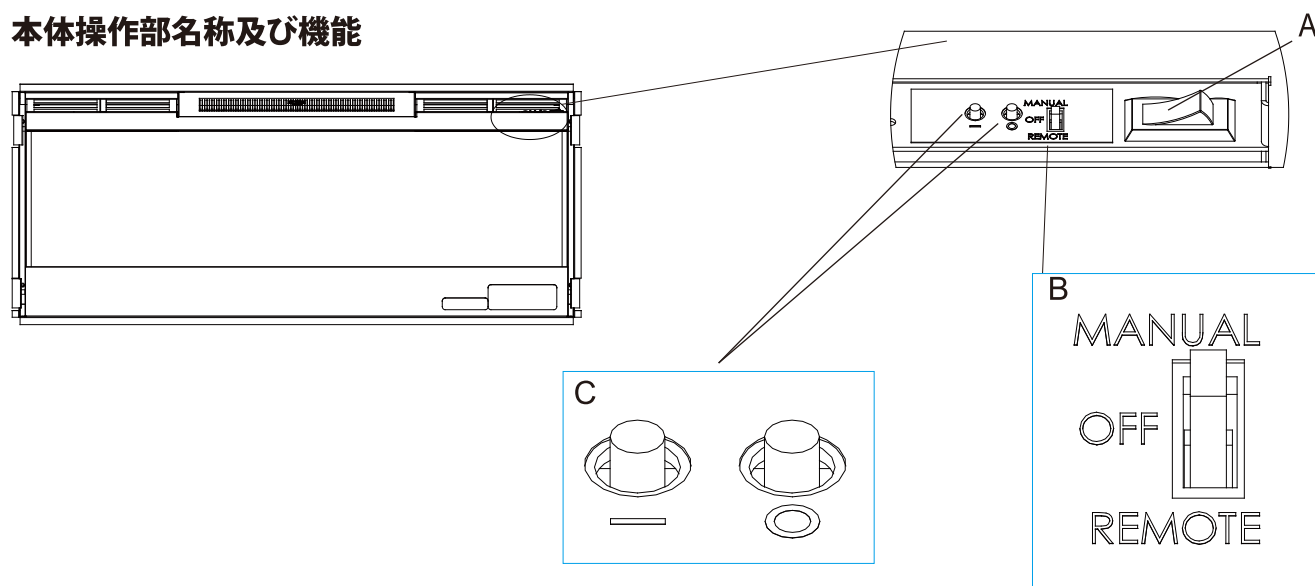


3：同梱されているビスで、前面ガラスを本体と固定してください。



運転のしかた(本体操作)

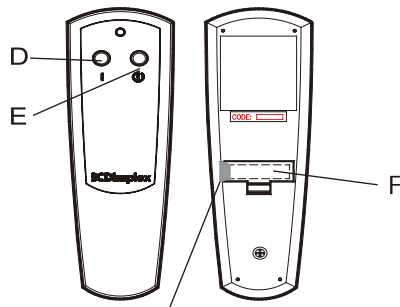
本体操作部名称及び機能



	名称	内容
A	電源スイッチ	電源の入切を行います。 "I"を押すと電源が入り、"O"を押すと電源が切れます。
B	操作切替スイッチ	操作方法の切替えを行います。スイッチは上側、中央、下側に切替えることができます。 スイッチを上側 (MANUAL) へ切替えた場合：本体側での操作となります。 スイッチを中央 (OFF) へ切替えた場合：スタンバイ状態となります。 スイッチを下側 (REMOTE) へ切替えた場合：リモコンでの操作となります。
C	動作切替スイッチ	炎効果、ヒーター動作の切替えを行います。 B操作切替スイッチを上側 (MANUAL) に設定します。 ① ボタンを1回押す：炎効果が作動します。 ② ボタンを2回押す：炎効果+ヒーター(弱)が作動します。 ③ ボタンを3回押す：炎効果+ヒーター(強)が作動します。 ④ ボタンを4回押す：①の状態に戻ります。 ⑤ ボタンを押す：炎交換とヒーターを切にします。 再度 ボタンを押すと炎効果が作動します。

運転のしかた (リモコン操作)

リモコンの操作部名称及び機能



※リモコンは、本体から10m以内でご使用ください。
 ※操作を正しく認識させるために、ボタンはゆっくりと操作してください。
 目安:約2秒に1回程度

リモコンの絶縁フィルム

リモコン使用時に絶縁フィルムを抜き取ってからご使用下さい。

	名称	内容
D	動作切替ボタン" I "	本体の 電源スイッチ" A "をONにし、本体の 動作切替スイッチ" C "を下側 (REMOTE)に設定した状態で、リモコンにて以下の操作を行います。 ① " I "ボタンを1回押す:炎効果が作動します。 ② " I "ボタンを2回押す:炎効果+ヒーター (弱) が作動します。 ③ " I "ボタンを3回押す:炎効果+ヒーター (強) が作動します。 ④ " I "ボタンを4回押す:①の状態に戻ります。
E	動作切替ボタン" ㊤ "	動作切替ボタン" ㊤ "を押すと炎効果とヒーター運転が停止し、スタンバイ状態となります。 再度" I "ボタンを押すと炎効果が作動します。
F	電池カバー	電池交換時にカバーを開けて交換して下さい。 電池タイプ:12V23A

＜リモコンと本体レシーバーのシンクロに関して＞

以下の場合、リモコンと本体レシーバーのシンクロを行ってください。

■電池交換をしても、リモコンの操作ができない場合

■リモコンを交換した場合

シンクロの手順

- ①P9の本体電源スイッチ" A "を入れる (" I ")
- ②P9の本体動作切替スイッチ" B "を下側の" REMOTE "にする。
- ③P9の本体動作切替スイッチ" I "を5秒間長押ししてください。
- ④10秒以内にリモコンの動作切替ボタン" I " もしくは" ㊤ "を押してください。
- ⑤リモコンの" I " ボタンを押し、動作が切り替わるかの確認をしてください。

お手入れのしかた

安全で快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをして下さい。

- ① 柔らかな布に水を含ませ、硬く絞ってから拭いて下さい。汚れがとれないときには薄めた中性洗剤を使用して下さい。クレンザー・シンナー等は表面を傷つけますので使用しないで下さい。
操作部や内部には絶対に水がつかないように注意して下さい。
- ② 電源コードにキズや熱くなる部分がないかを確認し、異常があれば交換を依頼して下さい。
特に、電源プラグの付け根および本体からの出口部は、しっかりと確認して下さい。
- ③ ヒーターをご使用される期間については2週間に1度程度、本体上部の温風吹き出し口のホコリを掃除機で吸い取って下さい。

保管のしかた

- ① 長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- ② ホコリの少ない乾燥した場所で保管して下さい。

故障診断

症状	点検・原因	処置
電源が入らない。	電源プラグの外れ	正しく差しこむ。
	ブレーカーの落ち	原因を調べてから復旧させる。
	過熱防止装置の作動	電源コードを抜き、本体が一度冷めてから、もう一度操作する。
擬似炎が暗い、小さい、点灯しない	基板の故障	販売店もしくは弊社へご連絡下さい。
操作部扉や扉内のスイッチ周辺が熱い。暖房運転が時々止まる。	吸込口が障害物等で塞がれている。	通風をよくする。
	吹出口に物が置かれている。	物を移動させる。
	吸込口・吹出口に多量の綿埃等が付着している。	掃除する。
異音がする。	擬似炎メカのギアモーター音がしますが異常ではありません。 送風機の音がしますが異常ではありません。	通常より大きな音・異質な音がする場合には、点検を依頼する。
電源プラグが熱い。電源コードが熱い。 電源コードを動かすと電源が切れる。	プラグの異常	電源コードの交換
	コードの半断線	電源コードの交換
ヒーターに通電するとブレーカーが働く。	ブレーカー容量以上の機器が接続されている。	接続機器を減らす。
リモコンが作動しない。	電池が切れている。	電池の交換 (12V23A)
	本体とのシンクロが切れている。	P10を参考にシンクロを行う。

上記のことを調べても原因がわからない場合には、販売店または弊社へご連絡下さい。

電源コードが破損した場合の交換は、安全のために弊社「お客様相談窓口」もしくは販売店へお問合せ下さい。

不適切な処理は、発火の原因となります。

アフターサービス

1. 使用中に異常が生じた場合には、直ちにスイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店または弊社へご相談ください。
2. 保証期間内の修理については、保証書に基き、無料でおこないます。
3. 保証期間経過後の修理については、修理により機能が維持できる場合にはお客様の要望により有料で修理いたします。
4. この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
5. 販売店または弊社へご相談される場合には、下記の内容をご連絡ください。
 - ①製品名、品番
 - ②症状
 - ③お買上年月日
 - ④お客様名、ご住所、電話番号

お客様相談窓口

フリーダイヤル



TEL 0120-583-570 FAX 011-783-7747

株式会社ディンプレックス・ジャパン [受付時間：平日9：00～17：00]

ホームページ <http://dimplex.jp/>

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

（株）ディンプレックス・ジャパンは、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を下記のとおり、お取り扱いします。

- ①お客様の個人情報を、本商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。なお、修理やその確認業務を協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供しません。
- ②お客様の個人情報を、適切に管理します。
- ③お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕 様

製 品 名	電気暖炉 Synergy-50"
型 番	BLF50J
暖 房 目 安	約 2 畳（木造住宅）～約 5. 5 畳（コンクリート住宅）
電 源	100V 50/60Hz
消 費 電 力	850W
外 形 寸 法	幅1277mm×高494mm×奥行179mm
製 品 質 量	34kg
送 風 機	クロスフローファン
安 全 装 置	過昇温度防止装置

※暖房目安は、(社)日本電機工業会自主基準により算出しております。

メ モ

メ モ